

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年01月06日

計画の名称	岩国市における拠点施設周辺の安心・安全な住環境の整備（第 期）												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	岩国市												
計画の目標	観光拠点である錦帯橋周辺地区について、歴史的なまちなみを維持しながら街なみ環境の整備を行い、歴史・風土に調和した安全で活力ある居住環境の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	796	A	679	B	0	C	117	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	14.69	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29年度当初)	中間目標値	最終目標値 (H33年度末)
1	街なみ環境の整備により、錦帯橋周辺を訪れる観光客の滞在時間の増加を図る。 毎年実施している「観光動態調査」における日帰り観光客の滞在時間に関するアンケート結果 錦帯橋周辺に2時間以上滞在する観光客の割合	46%	%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	岩国・横山地区街なみ環境整備事業	道路美化化、修景施設、生活環境施設整備等	岩国市						584		未策定	
	A16-002	住宅	一般	岩国市	間接	民間	-	-	岩国・横山地区街なみ環境整備事業	道路美化化、修景施設、生活環境施設整備等	岩国市						95		未策定	
												小計						679		
											合計						679			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	岩国市	間接	民間	-	-	工作物修景事業	工作物に対する修景事業	岩国市						5		未策定	
		工作物に対しても景観に配慮した修景事業を実施することにより、建築物と調和した、一体的なまちづくり事業が期待される。																		
	C16-002	住宅	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	修景内容検討事業	修景事業に伴う専門家意見聴取	岩国市						1		未策定	
		修景事業実施において専門家のアドバイスを取り入れることにより、建物本来の良さをいかした修景誘導につながる。																		
	C16-003	住宅	一般	岩国市	直接	岩国市	-	-	駐車場整備事業	駐車場の整備	岩国市						111		-	
		駐車場整備により来街者の回遊性向上が期待できるとともに、地区の道路環境の向上につながる。																		
																	117			
											合計						117			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
外部の学識経験者等の第三者に意見を求め、事後評価を実施。	令和3年度
	公表の方法
	岩国市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	道路美装化や修景事業により、地元住民の住環境の向上、また今後の観光客の回遊性向上に繋がることとなった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> 観光客の回遊性を向上させ滞在時間増加に繋がるよう地区内の駐車場配置の検討を行い、整備計画の効果をより一層高めることを目指す。 地区内の観光主要道路の美装化を実施し、回遊性のより一層の向上を目指す。 現計画の最終目標値を成果目標とした第 期計画を策定し、令和8年の事業完成を目指す。 地区の特性を生かした建物の修繕・修景に取組み、街なみ景観のより一層の向上を目指す。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	60%	道路美装化について他事業等との調整により計画どおりに進捗していないこと、また令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、錦帯橋周辺では休業や短時間営業を行う観光関連施設が増えたことで、観光客の立ち寄る施設が限られ、観光客の滞在時間が短縮されたためと考えられる。
	最終実績値	51%	